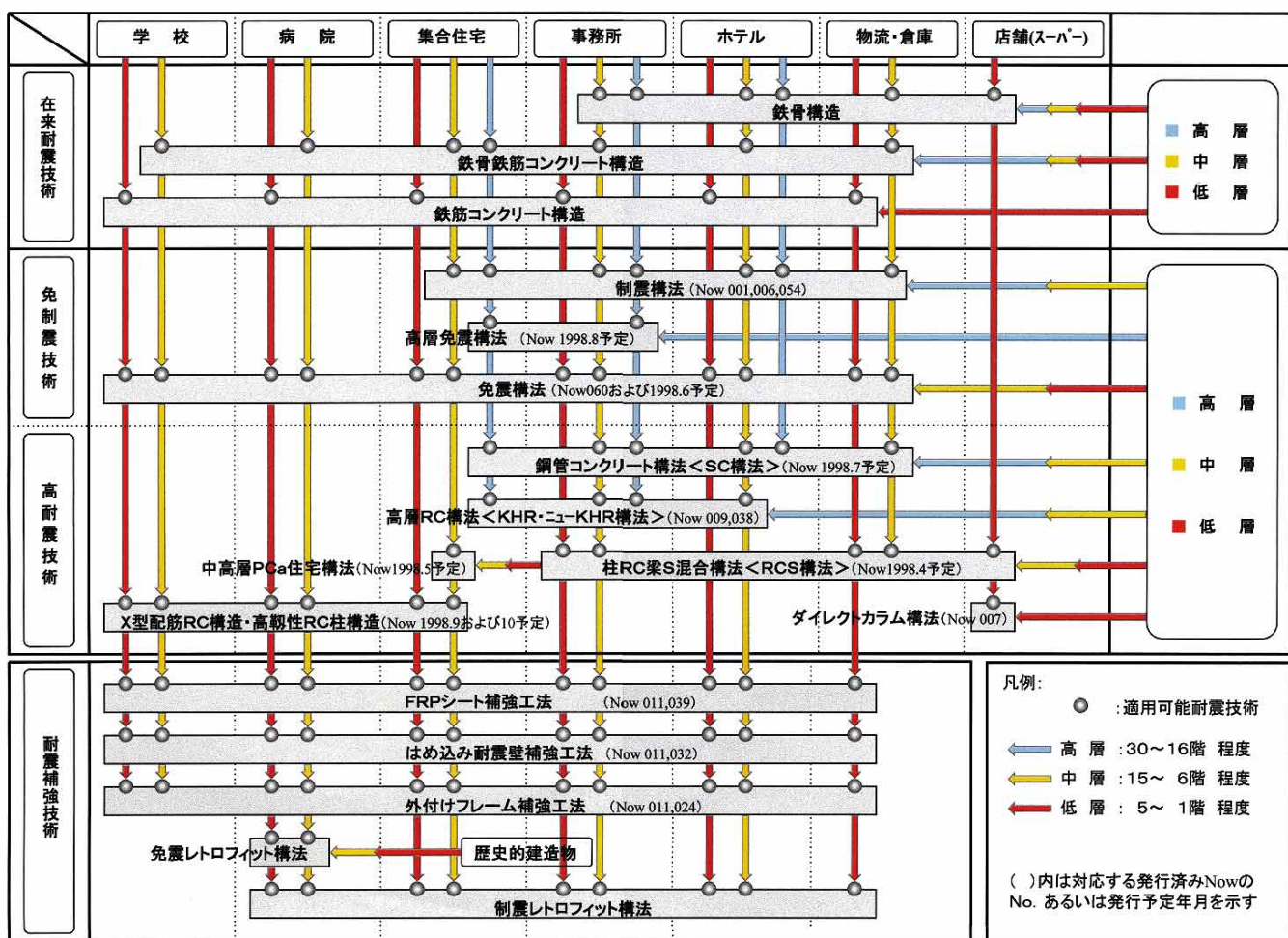


建物の用途、規模から適用可能な新しい耐震技術が分かります

■耐震技術マップとは

熊谷組が現在保有している建築分野の耐震技術を整理し、適用可能な用途や高さについて示したものです。耐震技術は、1) 免震、制震装置などにより地震時の建物の揺れを低減させ、高い耐震性能を持たせる（免制震技術）
2) 高強度材料の使用、材料の複合化などで耐震性の確保あるいは向上を図る（高耐震技術）
3) 既存建物を補強し耐震性の確保あるいは向上を図る（耐震補強技術）
の3つの分類に分かれます。なお、これらハード技術を適用するための解析・設計技術、建物の耐震性を把握する耐震診断技術などのソフト技術も用意しております。個々の耐震技術についてはパンフレットをご参照ください。



マップの見方： 上欄の各用途に対して表中に を付してある技術が使用可能な技術です。各矢印で、青、黄、赤、はそれぞれ高層、中層、低層を示しています。

■特徴および適用対象

建物の用途、高さから適用可能な耐震技術が分かると同時に耐震技術から適用可能な建物の用途、高さが分かります。各用途の建物とも一般的な規模および種別の建物を対象としています。特殊な用途および30階を超える超高層建物や大スパン構造については別途相談下さい。

このリーフレットは、再生紙を使用しています。